



TESTRUCTURE® テストラクチャー

(特許第 6148362 号)

—— 高品質テスト設計の決定版！

業界初！テスト分析／設計支援プラットフォーム

1 プロセスの標準化

- ツールが規定するプロセスに従って作業することで、プロセスや成果物が標準化され、テスト設計の品質のバラつきを抑制

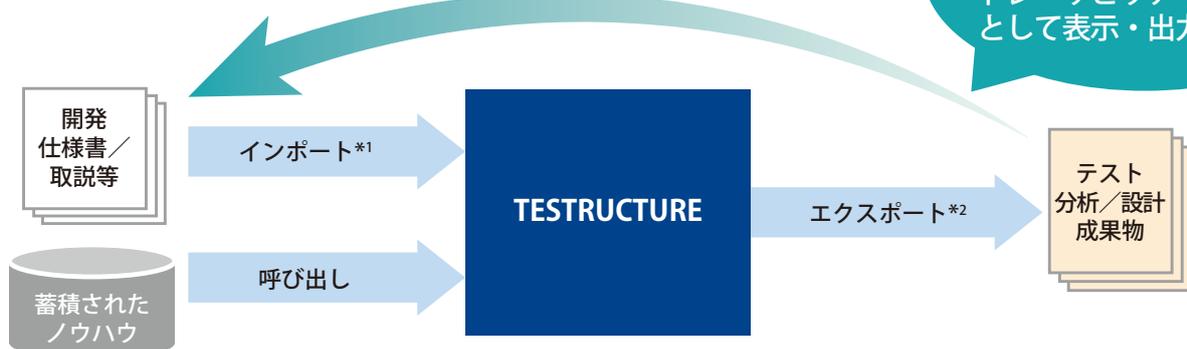
2 ノウハウの可視化

- 汎用的に利用される機能やテスト観点をノウハウとして蓄積し、いつでも参照可能に
- テスト観点を可視化することで、各エンジニアのスキルへの依存を低減し、テスト設計の品質向上を実現

3 トレーサビリティ

- 蓄積した情報を活用し、機能やテスト観pointsの抽出漏れを防止
- 仕様書と設計成果物のトレーサビリティを確保。仕様変更時の影響範囲の修正漏れを未然に防止
- 標準化・可視化により、成果物のレビューが容易に

高品質なテスト分析／設計を実現



*1 Word, Excel から html 形式に変換したファイルをインポート可能
*2 エクスポートするファイルはExcelで編集可能なxml形式

仕様書記述とテストケース間の双方向トレースをトレーサビリティレポートとして表示・出力可能！

エンジニアの思考に沿った使い勝手

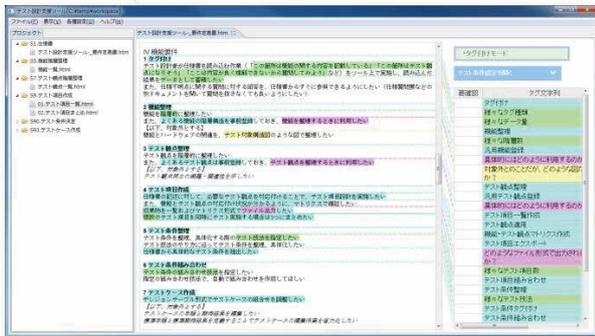
テスト分析／設計に特化した機能

ノウハウの蓄積と活用

ライセンス形態

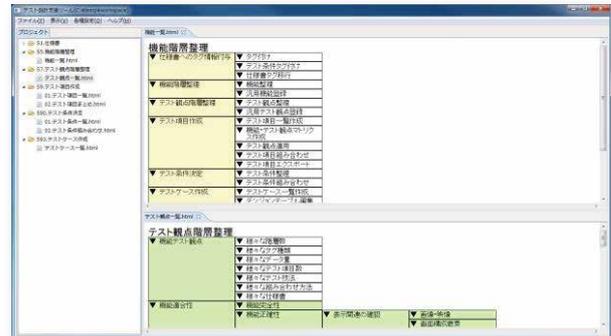
年間ライセンス契約
※PC1台ごとに1ライセンスが必要

特長



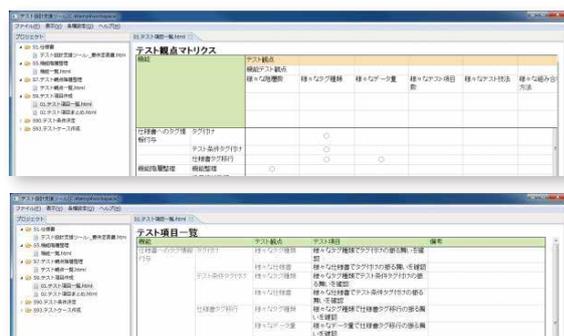
■ テストベースへのタグ付け

エンジニアがテストベースの記述を読んで分析した結果を、テストベース上にタグとして付与することで可視化。タグ情報は他画面に自動的に反映されます。



■ 機能/テスト観点の整理

テンプレートを活用し、テスト対象の機能とテスト観点を階層的に整理することで構造化。整理した結果は他プロジェクトのテンプレートとして再利用できます。



■ テスト項目の作成

テスト対象の機能に対してテストすべき観点を対応させることで、テスト項目を作成。テスト項目に対応する文字列は自動的に生成されます。マトリクス形式と一覧表形式の表示切替が可能です。



■ テストケースの生成

テスト項目に対して条件の組み合わせを指定することで、テストケースを生成。All-pair法をサポートしており、組み合わせ数の抑制が可能です。テスト項目・テストケースはエクスポートできます。

動作環境・データ量の上限

動作環境

OS	Windows 7 Professional Windows 8.1 Pro Windows 10 Pro (予定)
メモリ	2.00GB 以上
Java	Java 1.8.0_73
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 11

※Javaはインストーラーにて同梱インストール

データ量の上限

テストベースへのタグ付け	タグ数: 10,000 (1 テストベースあたり) タグ数: 110,000 (全テストベースの合計)
機能階層整理	機能数: 1,000
テスト観点階層整理	テスト観点数: 300
テスト項目一覧・テスト観点マトリクス作成	テスト項目数: 90,000
テスト条件一覧作成	テスト条件数: 40,000
テストケース一覧作成	テストケース数: 100,000
成果物エクスポート	テスト項目数: 90,000 テストケース数: 100,000

※1つの作業フォルダに格納可能な上限